

TAIJIQUAN

好

ハオ



国際スポーツ・健康法へ	1
第2回全日本大会開催決まる	2
第1回国際武術招待大会	5
'85年度活動日程	5
84. 6. 24中国武術代表团表演	6
第1回全日本太極拳・中国武術表演大会報告	8
第五次上海太極拳友好代表团活動報告	13
第5次大阪太極拳友好訪中団	14
国際会議レポート	16
第六次上海太極拳特別講習会	18
学習種目・簡介	19

No. 5

大阪太極拳協会

(WUSHU)の国際機構づくりが始動＝



悠久の歴史をへて、世界へ広がる中国の武術

12ヶ国武術代表国際会議レポート

川崎 雅雄

昨年の10月26日から11月5日にかけて、中国武術協会の招待を受けたフランス・西ドイツ・香港・マカオ・イタリア・日本・メキシコ・フィリピン・シンガポール・スウェーデン・アメリカ・タイの十二の国家と地域の武術代表団が中国武漢市を訪れ、全国武術表演賽（競技会）を参観するとともに、武術（WUSHU）の世界的発展を課題として初の「国際会議」を開催した。

中国を座長として、各代表はまず自国の武術活動の現況を紹介。あわせて世界的な普及についてもそれぞれの意見を初めて交換した。会談の中では主に以下の三つのことが話し合われ、共同の努力をしてゆくことを確認して「覚書」をかわし各代表が署名した。

(一) 中国武術は、中国伝統の文化遺産であるが、世界各国の人々の共同の財産として、平和と健康づくりの世

界体育の発展に貢献するべきである。このため、近い将来に協力して国際武術組織を創立させる。

今後、中国を軸として連絡を互いに深めて国際的な機構づくりのための準備を始動させる。

(二) 当面の課題として前記を踏まえて、85年の適当な時期に中国武術協会が主催して国際的な競技会「第一回国際武術招待試合」を開催し、各国愛好者の親善と技術交流の促進をはかる。

(三) このたびの会議に出席した各国、地域の代表は一致して、全世界の武術界が団結を強め、武術の広範な発展のために積極的に協力しあうことを呼びかけてゆく。

こうして「覚書」はかわされたが、武術（WUSHU）界はまだまだ小さくささやかな流れであり、しっかりとしたレ

